

■ノミバエ科の脚の拡大*



今日はこの小さなハエからです。体長はわずか2mm、前翅長も2mmです。でも、家に戻ってからのこの写真を見た途端、何となくノミバエという名前が浮かんできました。「絵解きで調べる昆虫」の検索表で調べてみると、やはりノミバエ科に落ち着きました。頭部の後ろ側の形が以前見た種と似ているからでしょ

うね。



一応、採集してきたので、いろいろと撮影してみました。まず、頭部です。この間も見たのですが、頭



部にやたら太い毛が生えていて、結構、ごつい感じがします。触角の基部は丸いですね。それよりも、前脚の基部がちょっと変わっている感じです。

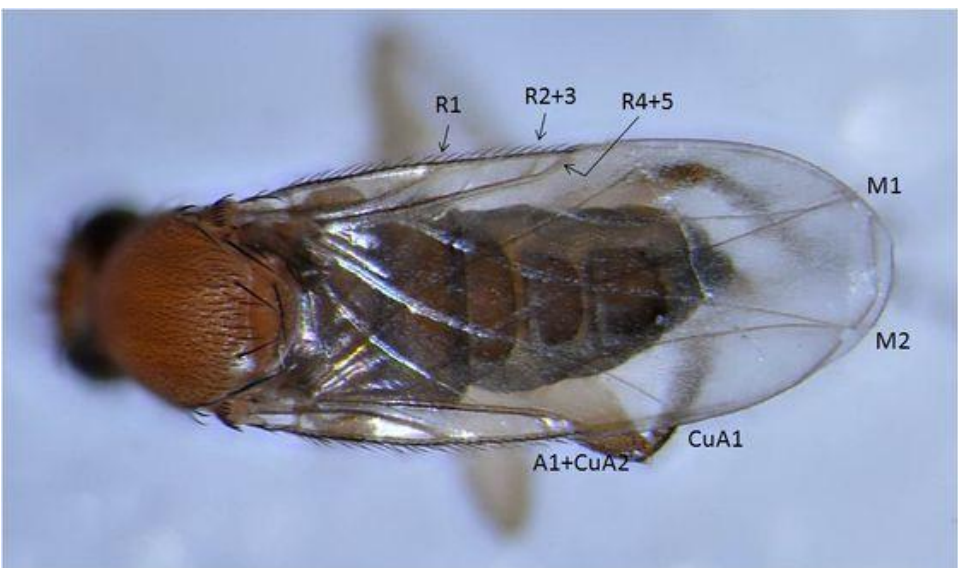


下から撮ってみたのですが、前脚の基節が太くなっているのでしょうか。ちょっと不思議な構造ですね。中脚の脛節末端内側にはずいぶん長い剛毛が生えています。



これは横から撮ったところです。先ほどの前脚の根元の部分が膨らんでいるのが見えます。その他、体側には特に剛毛はないですね。

最後は翅脈です。毒瓶に入れておいたら、翅が二枚くっついてしまっただけですが、この間のノミバエとよく似ています。特にM脈の辺りが変わっていますね。ただし、この翅脈の名称は Manual of Nearctic Diptera によるもので、「大図鑑」に載っている名称とはちょっと違うところがあると思います。



(追記: Zhiranさんに教えていただき、もう少し詳しく調べてみました。この種はトゲナシアシノミバエ亜科メガセリア属メガセリア亜属に属するかもしれませんが) (2015.1.23記)